

東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理

今、私たちにできる東北支援
「安全」から「安心」へ 地域の不安を解消するために



実施報告書

平成25年4月1日

浜松市 環境部 廃棄物処理施設管理課

東日本大震災に対する浜松市の支援

市長メッセージ

「東日本大震災で被災された皆様に浜松市は全力で応援します。」

災害廃棄物の広域処理について

浜松市として、岩手県山田町・大槌町の災害廃棄物について、広域処理に協力し、本格受入を実施することといたしました。

東日本大震災の津波被害による災害廃棄物の処理は、被災県内において最大限の処理を行うことを基本として、懸命な努力が続けられています。しかし、被災地の処理能力をはるかに超える膨大な災害廃棄物が発生しており、早期の復旧・復興には被災地域外の施設を活用する必要があります。

こうした状況を受け、浜松市においても、6月に岩手県山田町・大槌町の災害廃棄物の試験焼却を実施いたしました。その際、測定した放射性物質濃度や放射線量の値を確認したところ、焼却に当たっての問題はなく、安全性が確認できました。

処理に当たっては十分に安全を確認するとともに、引き続き、市民の皆様への情報の公開に努めてまいります。

浜松市長 鈴木康友 9月定例記者会見より



平成23年4月8日

「東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理体制の構築に関する調査」（環境省）

➤ 市町村における受入処理等に関する調査を実施。

※その後、被災地災害廃棄物が、放射性物質に汚染されていることが判明。

平成23年10月7日

「東日本大震災により生じた災害廃棄物の受入検討状況調査」（環境省）

➤ 放射性物質を含む可能性のあるものとして、再度市町村等における受入処理の検討状況に関する調査

平成23年10月24日

「県内市町の受入余力の1%に当たる600トンの協力を行ないたい旨の発言」（静岡県知事）

平成23年11月10日

「共同声明を採択」（静岡県市長会・町村会）

- 被災地のがれきは復興への足かせにもなっており、一日も早い処理が望まれる。
- そのためにも、被災地以外でのがれき処理が必要である。
- 放射性物質による汚染が懸念されており、安全性確保のほか、処理能力なども考慮しなければならない。
- 国・県は、役割に応じた決め細やかな責任ある対応をしていくべきである。
- 住民不安を払拭し、議会の理解を得るなど受入環境を整えた上で、各市町の実情にあった協力を行う。

広域処理の経緯

平成23年11月22日

「東日本大震災の災害廃棄物広域処理に関する要望書」（県知事→細野環境大臣）

- 安全基準に関する住民理解の促進
- 全国の最終処分場における災害廃棄物の受入促進

平成23年12月22日

静岡県市長会定例会

- 共通認識、共同歩調で対応したい。
- 国・県に対して、住民の不安を払しょくするための説明をお願いしたい。

平成24年1月4日

「国への申し入れ」（静岡県市長会・町村会→国：細野環境大臣へ提出）

「県への申し入れ」（静岡県市長会・町村会→県：川勝県知事へ提出）

平成24年1月13日

「申し入れに対する国、県からの回答」

平成24年1月18日

静岡県市長会・町村会臨時合同会議

- 回答内容に具体性がなく、不十分な回答である。
- 再度、国・県に対して要望する。

広域処理の経緯

平成24年1月26日

「国、県への再申し入れ」

平成24年2月2日

「再申し入れに対する国、県からの回答」

▶ 受入基準は、2月中の策定を予定している。（県）

平成24年2月6日

静岡県定例市長会議

- ▶ 国、県からの回答は不十分であり、満足できるものではないが、これ以上の回答は望めない。
- ▶ 試験焼却の全体計画について、県が主導して策定するよう要請する。
- ▶ 試験焼却を、県内の全市での取り組みとして進めていく。

平成24年2月16日

「静岡県知事に対し、申し入れ」

平成24年2月29日

災害廃棄物試験焼却受入基準 （静岡県）

平成24年3月16日

県による処理計画策定に係る個別調査 （浜松市）

平成24年3月26日

内閣総理大臣、環境大臣からの要請（浜松市長あて）

平成24年3月27日

浜松市長定例記者会見

- 4月の住民説明会、5月下旬の試験焼却実施を目標に準備を進める。
- 試験焼却により安全性を確認し、市民・住民の皆さんの理解を得る中で、本格受入れを判断する。

平成24年4月13日

災害廃棄物の試験焼却に係る全体計画（静岡県）

平成24年4月

住民説明会

- 試験焼却に向けて、処理施設周辺の4地区において、住民説明会を開催
- 篠原地区 ■4月18日（水） 19:00～（篠原公民館ホール）
- 和地地区 ■4月23日（月） 19:00～（和地公民館ホール）
- 五島地区 ■4月26日（木） 19:00～（南区役所大会議室）
- 庄内地区 ■4月27日（金） 19:00～（庄内公民館ホール）

広域処理の経緯

平成24年5月21日～23日 23日～25日

災害廃棄物の現地視察

- 第1陣：5月21日～23日 第2陣：5月23日～25日 2陣に分けて山田町・大槌町へ
- 山田町・大槌町の災害廃棄物破碎・選別施設を視察

平成24年6月1日～3日

第1次試験焼却 南部清掃工場にて

平成24年6月23日～26日

第2次試験焼却 西部清掃工場にて

平成24年6月11日～7月27日

試験焼却のサンプル公開

平成24年7月19日～28日

試験焼却結果説明会 市内3会場

- 試験焼却結果、判断プロセスについて、処理施設周辺の住民や全市民を対象とした説明会を開催
- 篠原・庄内・和地地区 ■7月19日（木） 19:00～20:30 雄踏文化センター大ホール
- 五島地区 ■7月25日（水） 19:00～20:30 南区役所3階大会議室
- 市民説明会 ■7月28日（土） 14:00～16:00 クリエイト浜松ホール

広域処理の経緯

平成24年8月7日

東日本大震災に係る災害廃棄物の処理工程表（環境省）

平成24年9月3日

東日本大震災に係る災害廃棄物受入れ処理計画（静岡県）

平成24年9月5日

岩手県災害廃棄物の広域処理の実施に向けた関係機関打ち合わせ会議（岩手県山田町）

▶ 浜松市から、担当者を派遣

平成24年9月26日

浜松市長定例記者会見

▶ 広域処理に協力し、本格受入を実施する。

平成24年10月4日

試験焼却灰の埋立

平成24年10月11日

災害廃棄物処理業務委託契約（静岡県・浜松市）

広域処理の経緯

平成24年10月18日

本格受入れを開始

平成24年12月18日

災害廃棄物の広域処理に関する打ち合わせ会議（静岡県庁）

平成25年1月8日

災害廃棄物の広域処理に関する打ち合わせ会議（2）（静岡県庁）

▶ 3月で処理が終了する見通しが示される

平成24年1月11日

広域処理の今後の進め方に関する関係機関実務打ち合わせ会議（岩手県山田町）

▶ 浜松市から、担当者を派遣

平成25年1月25日

東日本大震災に係る災害廃棄物の処理工程表の見直し（環境省）

平成25年1月28日～2月2日

搬出時の受入れ基準確認業務に職員派遣（静岡県への業務支援）（岩手県山田町）

平成25年2月8日

静岡県定例市長会議

➤ 岩手県から現状について、静岡県から今後の受入れ見通しについて発表

平成25年3月8日

東日本大震災による災害廃棄物の受入れ終了発表（静岡県）

平成25年3月15日

災害廃棄物広域処理の搬入終了・搬入終了式（浜松市）

平成25年3月18日

災害廃棄物受入れ終了に係る岩手県副知事表敬訪問と共同記者会見（静岡県庁）

平成25年3月27日

災害廃棄物広域処理の埋立終了（浜松市）

浜松市の取り組み

●住民説明会

◆開催概要

- ▶ 4月18日(水) 篠原地区 篠原公民館 76名
- ▶ 4月23日(月) 和地地区 和地公民館 67名
- ▶ 4月26日(木) 五島地区 南区役所 75名
- ▶ 4月27日(金) 庄内地区 庄内公民館 65名 参加者合計 283名
- ▶ 4月25日～27日 7区の協議会で説明

◆説明内容

- ▶ 環境省:被災地の現状や広域処理の必要性
- ▶ 静岡県:島田市の試験焼却結果、静岡県全体計画と受入基準
- ▶ 浜松市:試験焼却の具体的な手順や処理の流れ、測定確認項目



浜松市の取り組み

●住民説明会



◆住民の意見

- ▶ 反対意見がある一方、その必要性から受入れざるを得ないという発言
- ▶ 処理施設を抱える住民として、放射能への心配や不安を訴える意見
- ▶ 風評被害、バグフィルター、埋立方法と管理などが不安な点として指摘
- ▶ 安全性の確認や測定結果の積極的な情報公開への希望

◆説明会の総括

- ▶ 落ち着いた雰囲気で開催でき、大変熱心に説明を聞いていただいた。
- ▶ 広域処理の必要性や試験焼却について、概ねのご理解をいただけたと認識している。
- ▶ 試験焼却にあたっては、放射能や有害物質についてきめ細かく測定する。
- ▶ 測定結果を迅速に情報公開していくことが必要と考える。

浜松市の取り組み

● 災害廃棄物の現地視察

◆ 視察日程と参加人数

- 第1陣:5月21日～23日 第2陣:5月23日～25日
- 施設周辺自治会や公募市民 60名 市職員を合わせ 計80名が参加

◆ 視察先

- 山田町災害廃棄物破碎・選別施設 (発注者:岩手県)
- 大槌町災害廃棄物破碎・選別施設 (発注者:岩手県)



浜松市の取り組み

● 災害廃棄物の現地視察

◆ 参加者の感想

- ▶ 他人事ではないので、一日も早く処理に協力してほしい。
- ▶ 百聞は一見にしかず。視察に来てよかった。
- ▶ 広域処理は大いに必要。日本全国で一步を踏み出すべき。
- ▶ 東北の痛みを少しでも分かち合う気持ちを私たちは持ちたい。
- ▶ 未分別のがれきの山も残されていて、発火の危険性もあり早期の処理が必要。
- ▶ テニスボール、網、炊飯器と生活そのものを感じさせるものが胸をついた。
- ▶ 仕分け・選別を最終的には手作業で行っている。手間が掛かることがわかった。
- ▶ がれき焼却は賛成であるが、放射能に関する追跡調査を行ってほしい。
- ▶ 受入に対して問題はないが、後々のために受入後の管理記録を残すことが大切。



● 第1次試験焼却

◆ 処理の概要

- 処理: 南部清掃工場
- 対象物: 岩手県山田町の柱材・角材を破砕し、チップ化したもの
- 搬入: 6月1日(金) コンテナ4基 8.08トン
6月2日(土) コンテナ6基 11.98トン } 搬入量計: 20.06トン
- 焼却: 災害廃棄物 20.06トン
一般可燃ごみ 114.82トン } 総焼却量: 134.88トン 混焼率: 14.9%
- 焼却炉投入開始 6月2日 15:00
- 焼却炉投入終了 6月3日 12:30
- 焼却終了 6月3日 15:00

◆ 搬入の公開

- 6月1日 17:00～ 6月2日 9:00～ 見学者数:41名 報道:14社
- 市長立会いのもと測定を行ない、受入基準に適合していることを確認

◆ 運転監視項目

- 焼却炉運転中の炉内温度、炉内圧力などの運転監視項目において、異常なく適正に制御されたことを確認

南部清掃工場



搬入コンテナ (6/1)



空間線量率測定 (6/1)



焼却炉投入状況 (6/2)



焼却状況 (6/2)

● 第2次試験焼却

◆ 処理の概要

- 処理: 西部清掃工場
- 対象物: 岩手県**大槌町**の柱材・角材を破砕し、チップ化したもの
- 搬入: 6月23日(土) コンテナ5基 10.52トン
6月24日(日) コンテナ5基 11.17トン } 搬入量計: 21.69トン
- 焼却: 災害廃棄物 21.69トン
一般可燃ごみ 115.66トン } 総焼却量: 159.15トン 混焼率: 13.7%
南部焼却灰 21.80トン
- 燃焼溶融炉投入開始 6月25日 9:00
- 燃焼溶融炉投入終了 6月26日 9:00
- 燃焼溶融終了 6月26日 15:00

◆ 搬入の公開

- 6月23日 8:30～ 6月24日 8:30～ 見学者数:13名 報道:4社
- 市長立会いのもと測定を行ない、受入基準に適合していることを確認

◆ 運転監視項目

- 焼却炉運転中の炉内温度、炉内圧力などの運転監視項目において、異常なく適正に制御されたことを確認

西部清掃工場



搬入コンテナ (6/23)



空間線量率測定 (6/23)

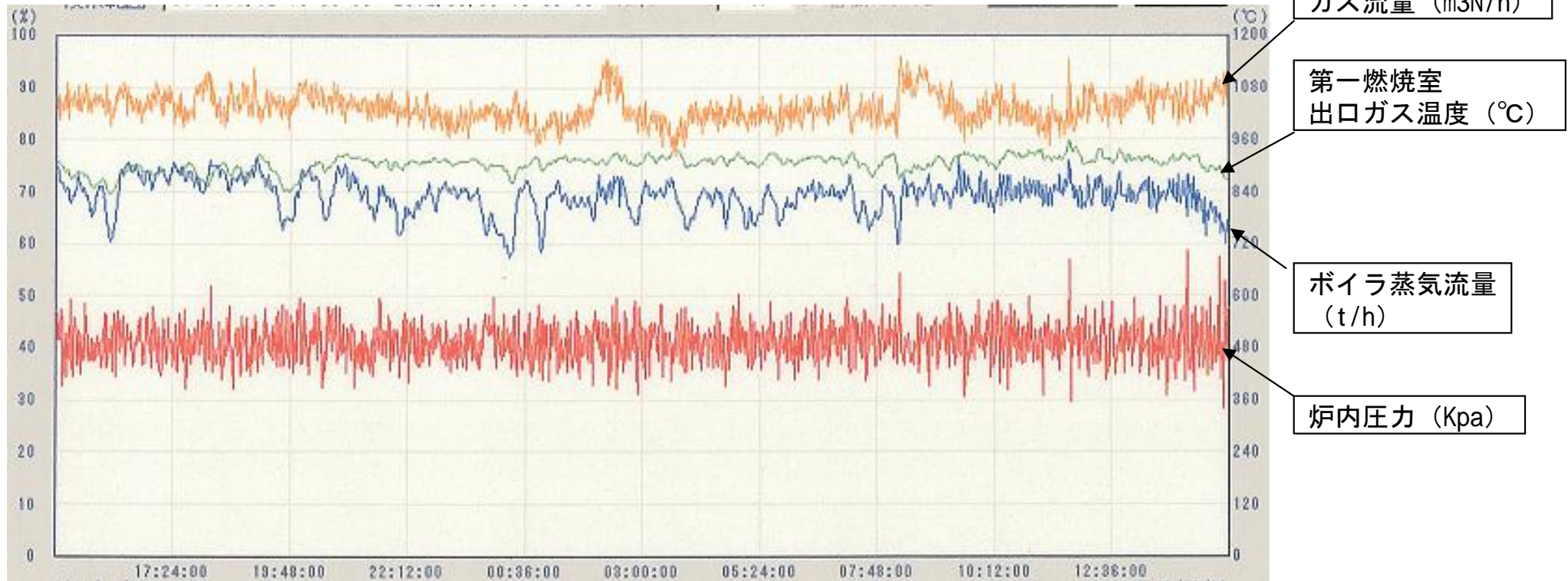


燃焼溶融炉投入状況 (6/25)



溶融状況 (6/25)

◆南部清掃工場【炉内温度と炉内圧力】

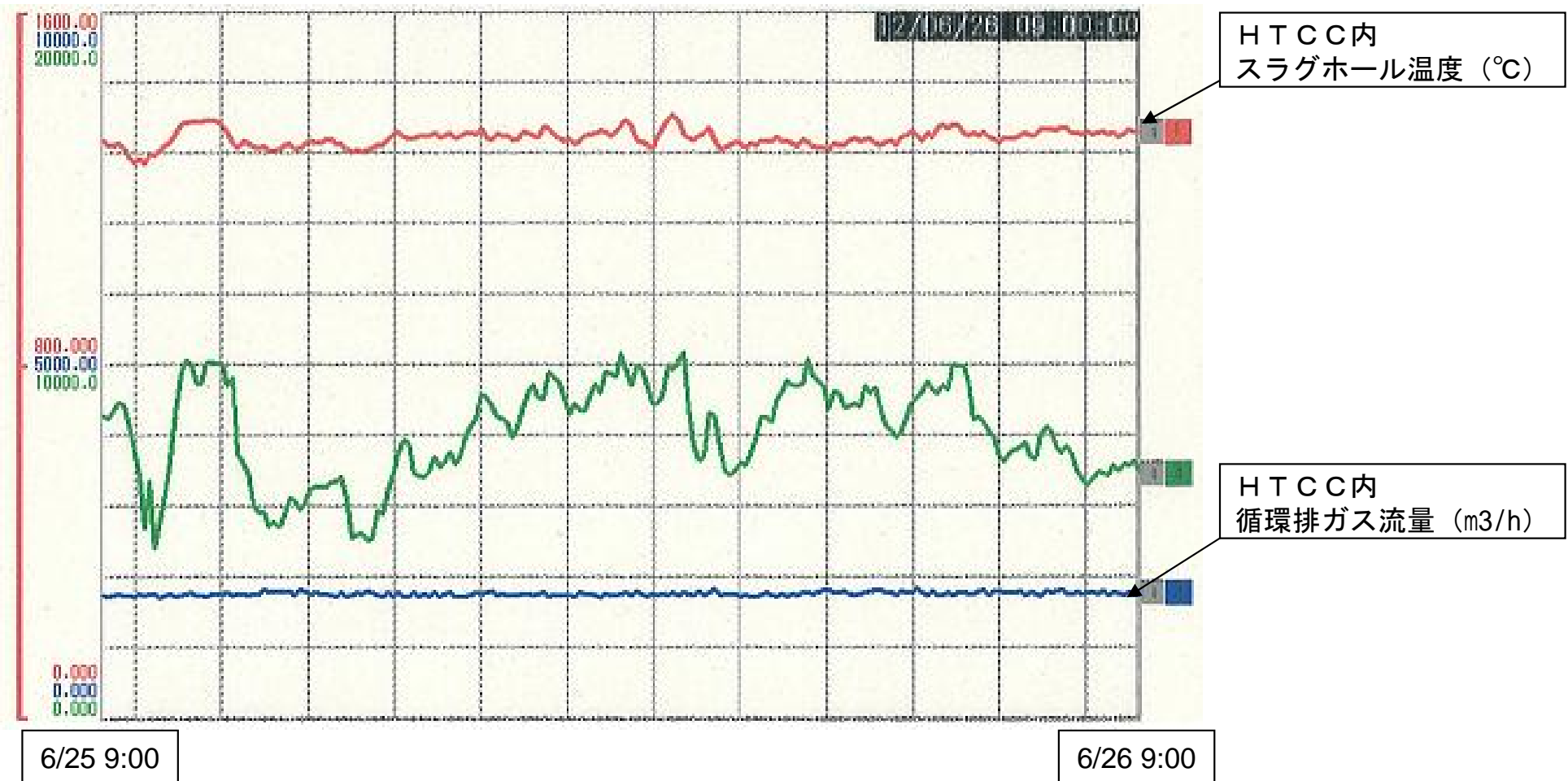


6/2 15:00

6/3 15:00

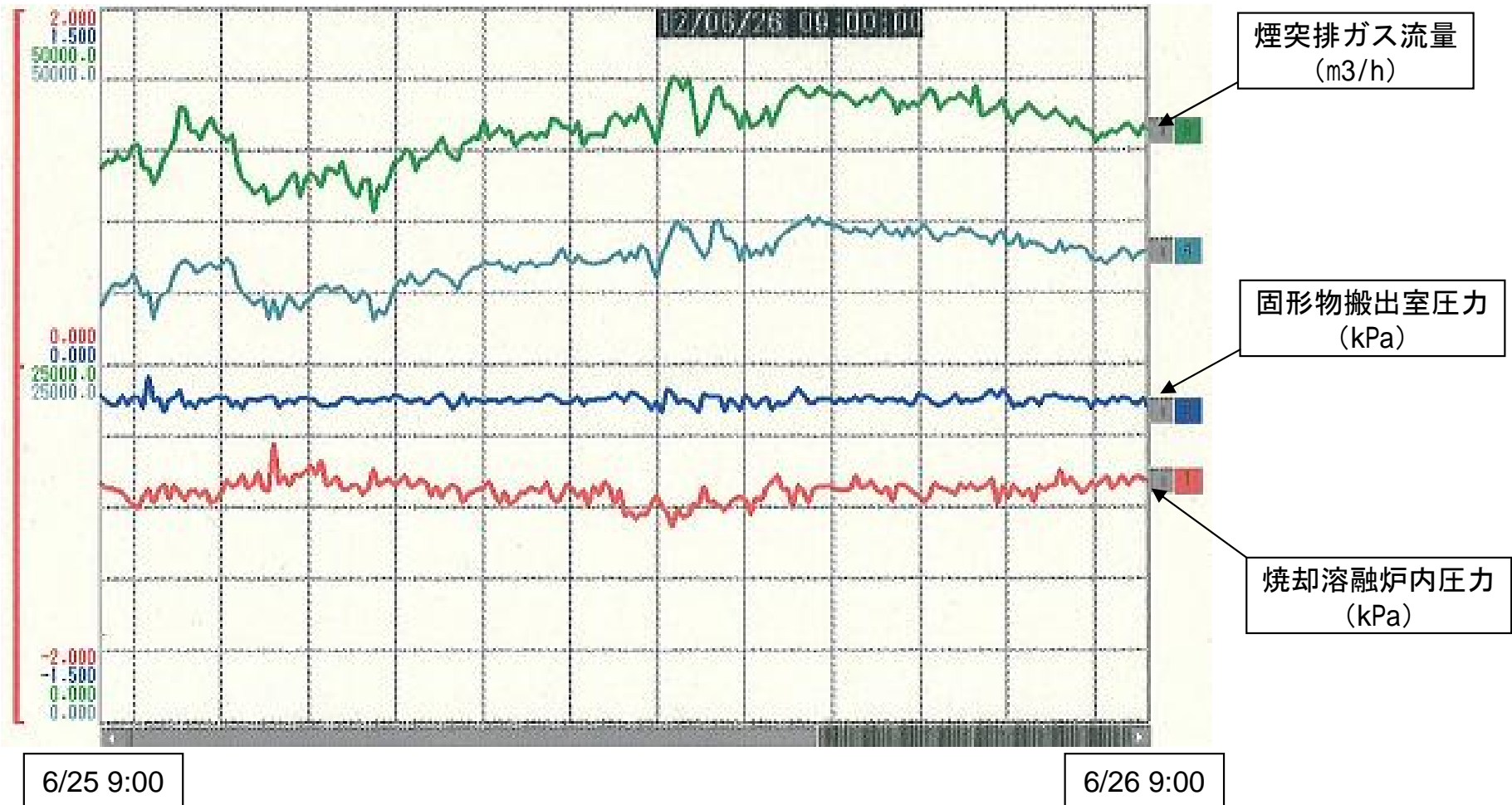
- ▶ 炉内圧力は、一定負圧(-0.035kPa)を維持できている。
- ▶ 炉内圧力の微小な変動は、誘引送風機により制御できており、煙突入口ガス量に現れている。
- ▶ 炉内温度は、900°Cを維持しており、ボイラ蒸気量に影響を及ぼしていない。

◆西部清掃工場【炉内温度】



- 燃焼溶融炉のスラグホール温度は、1300°Cを維持できている。
- 温度の微小な変動は、循環排ガスによる制御を必要としていない。

◆西部清掃工場【炉内圧力と排ガス量】



- 固形物搬出室圧力は、一定負圧(-0.15kPa)を維持できている。
- 炉内圧力の微小な変動は、誘引送風機による煙突排ガス流量を制御可能な範囲で変動させている。

試験結果の分析

● 清掃工場搬入時の放射線量測定

◆ 災害廃棄物の空間線量率 ($\mu\text{Sv}/\text{時}$)

南部清掃工場			
搬入日	測定値	BG	受入基準
6月1日 (4基)	0.08~0.09	0.08	0.24
6月2日 (6基)	0.08~0.10	0.09	0.27
西部清掃工場			
搬入日	測定値	BG	受入基準
6月23日 (5基)	0.05	0.05	0.15
6月24日 (5基)	0.05	0.05	0.15



◆ 南部・西部清掃工場ともに、受入基準 (BGの3倍以内) を満足した。

➤ BG (バックグラウンド) とは、測定対象物の影響が無い状態での測定値

● 焼却後の放射能測定

◆ 焼却灰等の放射性物質濃度

単位：Bq/kg ()内は検出下限値

南部清掃工場	通常日				試験焼却日			
	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
焼却主灰	5月31日	不検出 (5)	7 (5)	7	6月3日	不検出 (7)	12 (5)	12
無害化处理灰	5月31日	30 (7)	45 (7)	75	6月3日	34 (6)	55 (7)	89
混合灰	5月31日	9 (5)	12 (5)	21	6月3日	9 (5)	15 (5)	24

西部清掃工場	通常日				試験焼却日			
	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
溶融飛灰固化物	6月22日	41 (7)	61 (6)	102	6月25日	42 (7)	70 (6)	112
灰処理不適物	6月22日	10 (4)	18 (5)	28	6月25日	11 (5)	20 (5)	31
溶融スラグ	6月22日	不検出 (6)	不検出 (6)	不検出	6月25日	不検出 (5)	不検出 (4)	不検出
精製塩	6月22日	不検出 (6)	不検出 (4)	不検出	6月29日	不検出 (4)	不検出 (5)	不検出
ミックスメタル	6月22日	4 (3)	7 (3)	11	6月25日	4 (3)	6 (3)	10

※ 国の埋立基準は、8,000Bq/kg

※ 浜松市の埋立基準は、282Bq/kgを著しく上回らないこと。

●焼却前の放射能測定

◆搬入ごみの放射性物質濃度

単位：Bq/kg ()内は検出下限値

	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
南部清掃工場	5月31日	不検出 (2)	2 (2)	2
西部清掃工場	6月22日	2 (2)	4 (1)	6

◆災害廃棄物の放射性物質濃度

単位：Bq/kg ※コンテナ10基の最小値～最大値

	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	受入基準
南部清掃工場	6月1日・2日	不検出～12	9～21	9～28	100
西部清掃工場	6月23日・24日	不検出	不検出～23	不検出～23	100

受入基準（100Bq/kg以下）を満足した。

◆岩手県搬出前の放射性物質濃度

単位：Bq/kg ※静岡県発表

	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	受入基準
山田町A	5月2日	7.7	9.1	16.8	100
山田町B	5月2日	5.1	6.6	11.7	100
大槌町	6月1日	4.8	7	11.8	100

●焼却灰の放射性物質濃度

◆これまでの測定結果との比較

単位：Bq/kg

() 内は検出下限値

施設名	試料名	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
南部清掃工場	飛灰	H23.7.20	39 (15)	61 (17)	100
		H24.3.12	22 (20)	22 (20)	44
試験焼却	通常日	H24.5.31	30 (7)	45 (7)	75
	試験焼却日	H24.6.3	34 (6)	55 (7)	89

西部清掃工場	溶融飛灰固化物	H23.7.19	132 (17)	150 (16)	282
		H23.8.31	76 (20)	85 (20)	161
		H24.3.12	26 (20)	51 (20)	77
試験焼却	通常日	H24.6.22	41 (7)	61 (6)	102
	試験焼却日	H24.6.25	42 (7)	70 (6)	112

※ 国の埋立基準は、8,000Bq/kg

※ 浜松市の埋立基準は、282Bq/kgを著しく上回らないこと。

● 焼却後の放射能測定

◆ 排ガス中の放射性物質濃度

単位：Bq/m³N ()内は検出下限値

南部清掃工場	通常日				試験焼却日			
	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
ガス減温塔 (ろ紙部)	5月31日	不検出 (0.3)	不検出 (0.3)	不検出	6月3日	0.3 (0.3)	0.6 (0.2)	0.9
ガス減温塔 (ドレン部)	5月31日	不検出 (0.6)	不検出 (0.4)	不検出	6月3日	不検出 (0.6)	不検出 (0.5)	不検出
煙突 (ろ紙部)	5月31日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	6月3日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出
煙突 (ドレン部)	5月31日	不検出 (0.3)	不検出 (0.4)	不検出	6月3日	不検出 (0.3)	不検出 (0.4)	不検出

西部清掃工場	通常日				試験焼却日			
	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計	採取日	Cs134	Cs137	Cs合計
バグフィルター入口 (ろ紙部)	6月22日	0.5 (0.3)	0.9 (0.3)	1.4	6月25日	0.5 (0.2)	0.9 (0.3)	1.4
バグフィルター入口 (ドレン部)	6月22日	不検出 (0.5)	不検出 (0.6)	不検出	6月25日	不検出 (0.6)	不検出 (0.5)	不検出
煙突 (ろ紙部)	6月22日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	6月25日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出
煙突 (ドレン部)	6月22日	不検出 (0.2)	不検出 (0.4)	不検出	6月25日	不検出 (0.6)	不検出 (0.5)	不検出

※ ろ紙部とドレン部の合計の濃度限度 セシウム134:20Bq/m³N以下、セシウム137:30Bq/m³N以下

試験結果の分析

● 災害廃棄物

- ◆ 搬入した災害廃棄物は、基準を満足していた。

● 搬入・焼却

- ◆ 清掃工場での搬入・焼却において、技術上の問題をクリアできた。
- ◆ 有害物質、重金属についても、災害廃棄物による影響はなかった。

● 周辺施設

- ◆ 周辺施設での放射線量率測定において、試験前後で大きな違いはなかった。

● 搬出物

- ◆ 埋立処分を行う溶融飛灰固化物は、これまでの浜松市の実績と大きな違いはなかった。

● まとめ

- ◆ 安全性の確認ができ、焼却にあたって問題はなかった。

浜松市の取り組み

● 災害廃棄物試験焼却のサンプル公開

◆ 第1次試験焼却(南部清掃工場)

- 公開期間:6月11日～6月29日
- 公開場所:浜松市役所市民ホール、南区役所、南部清掃工場、保健所
- 公開試料:災害廃棄物(木質チップ)、焼却灰

◆ 第2次試験焼却(西部清掃工場)

- 公開場所:7月4日～7月27日
- 公開場所:浜松市役所市民ホール、西区役所、西部清掃工場(えこはま)、保健所
- 公開試料:災害廃棄物(木質チップ)、熔融飛灰固化物、熔融スラグ

◆ 空間線量率の測定

- 測定器を用意し、来庁者のご自身で放射線量を測定し、確認していただいた。



浜松市の取り組み

●試験焼却結果説明会

◆開催概要

- 7月19日(木) 雄踏文化センター (西区説明会) 36名
- 7月25日(木) 南区役所 (南区説明会) 29名
- 7月28日(土) クリエイト浜松 (市民説明会) 82名

◆市民説明会(7/28)の内容

- 環境省: 災害廃棄物処理の進行状況
- 浜松市: 試験焼却結果の報告
- 講演会: 放射能の基礎知識と浜松市の試験焼却 (静岡大学 矢永先生)
- 浜松市長挨拶



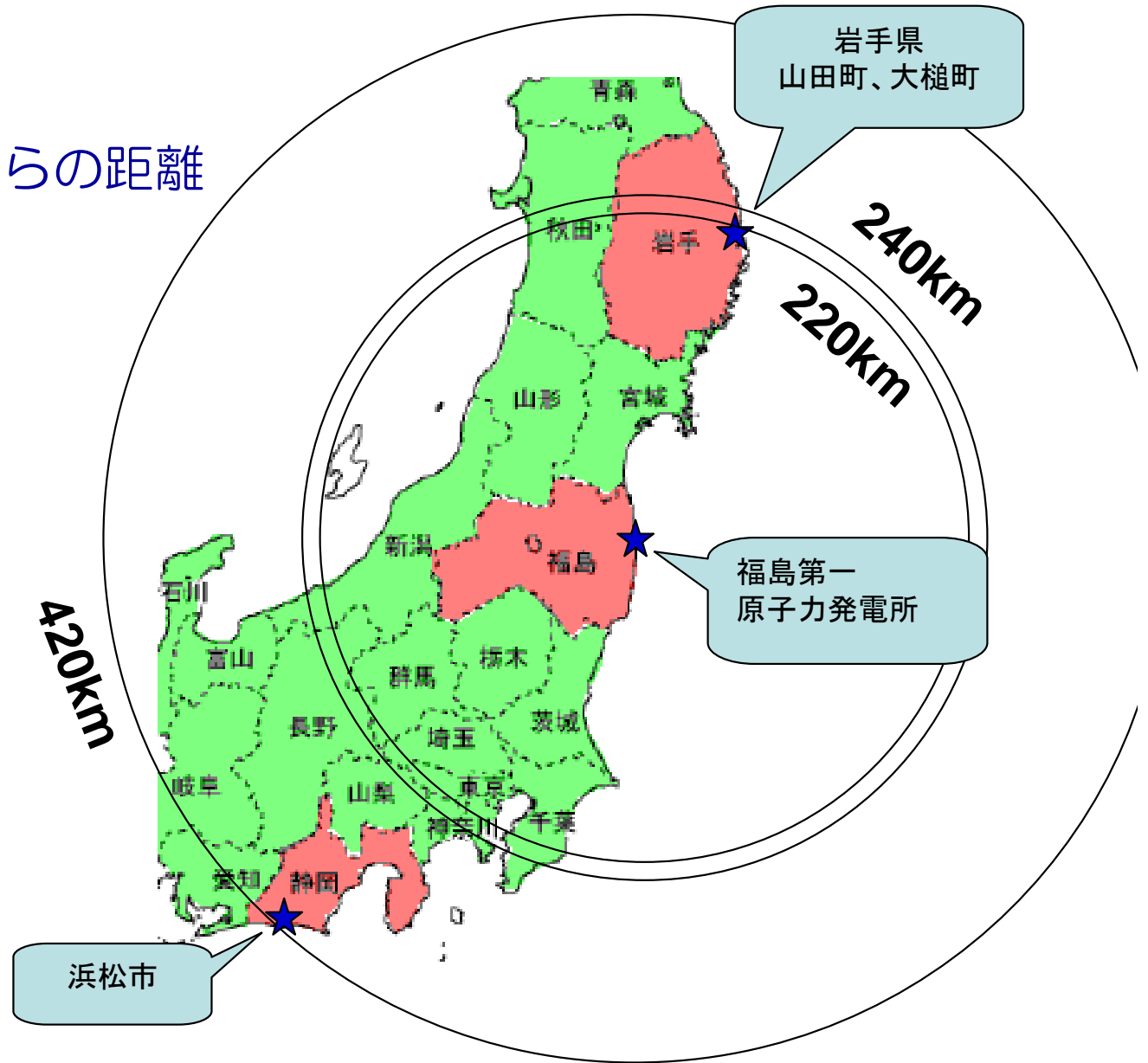
受入れのスキーム

■対象物の搬出元

岩手県 山田町、大槌町

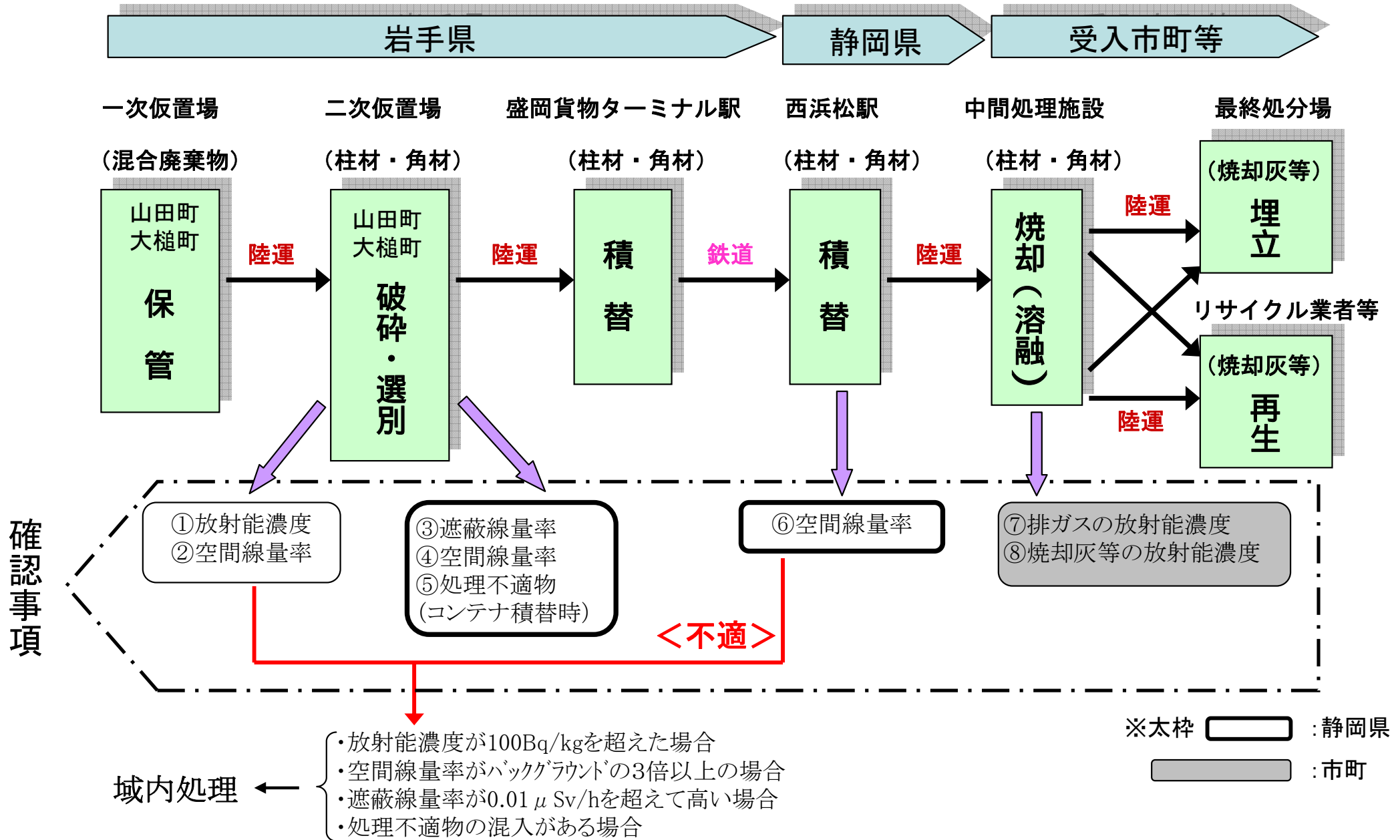
■福島第一原子力発電所からの距離

- ・大槌町：220Km
- ・山田町：240Km
- ・浜松市：420Km



受入れのスキーム

■ 静岡県内の広域処理



- ・放射能濃度が100Bq/kgを超えた場合
- ・空間線量率がバックグラウンドの3倍以上の場合
- ・遮蔽線量率が0.01 μ Sv/hを超えて高い場合
- ・処理不適物の混入がある場合

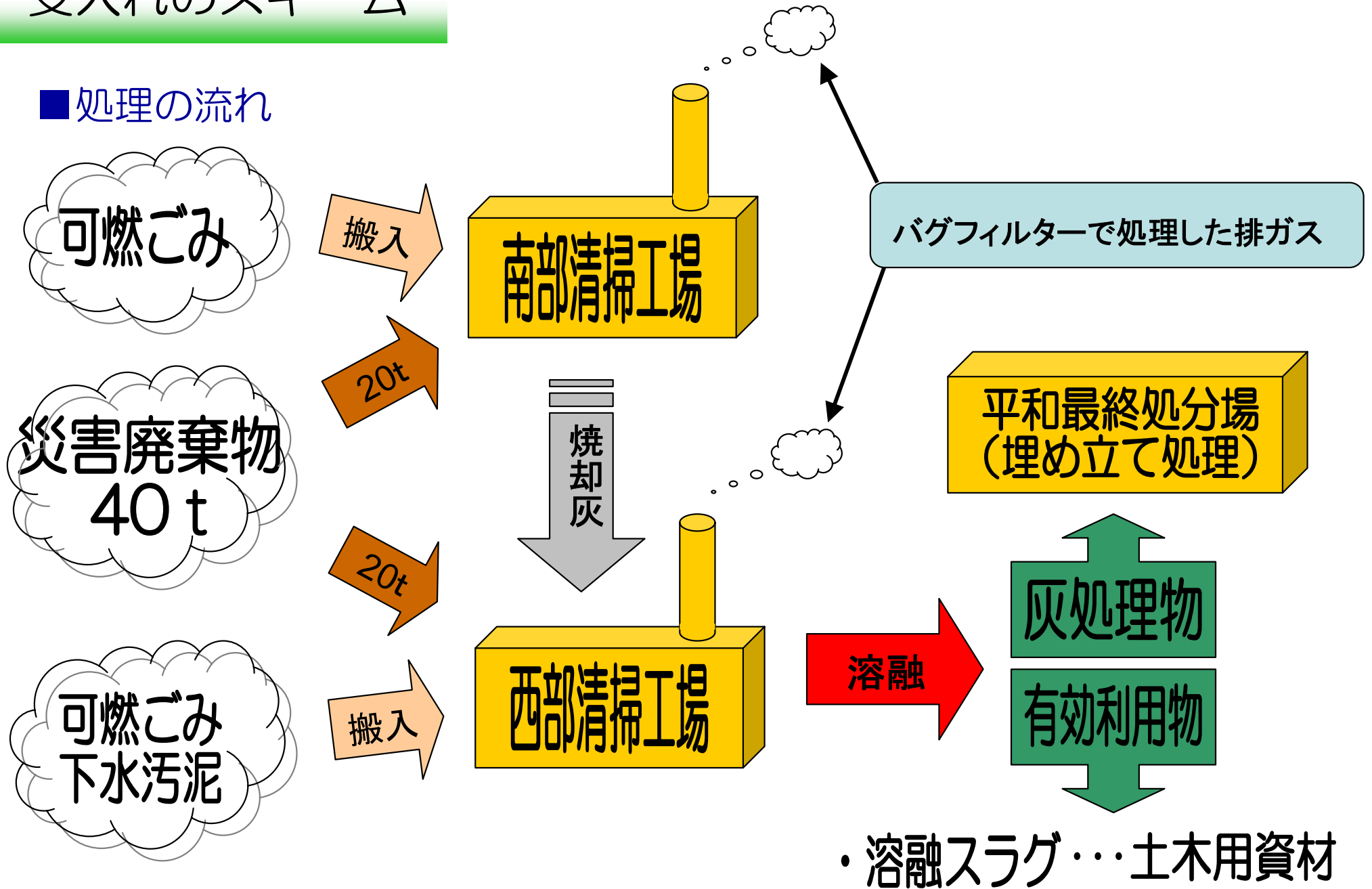
受入れのスキーム

■焼却施設・最終処分場位置図



受入れのスキーム

■処理の流れ



受入れのスキーム

■ 焼却灰の安全な埋立方法（国のガイドライン）

8,000Bq/kg以下の焼却灰（主灰・飛灰）については、追加的な措置なく、安全に一般廃棄物最終処分場（管理型最終処分場）で埋立可能。念のため、飛灰と主灰の埋立場所を分け、それぞれの埋立場所が特定できるよう管理。

（より安定した状態での埋立処分）

- ・焼却灰等と水がなるべく接触しないように、水がたまりやすい場所での埋立ては行わない等の対策
- ・放射性セシウムの土壌吸着性を考慮して土壌の層の上に焼却灰を埋立て



● 本格受入

- 10月11日 静岡県と委託契約を締結
- 10月18日 本格受入を開始



広域処理の実施

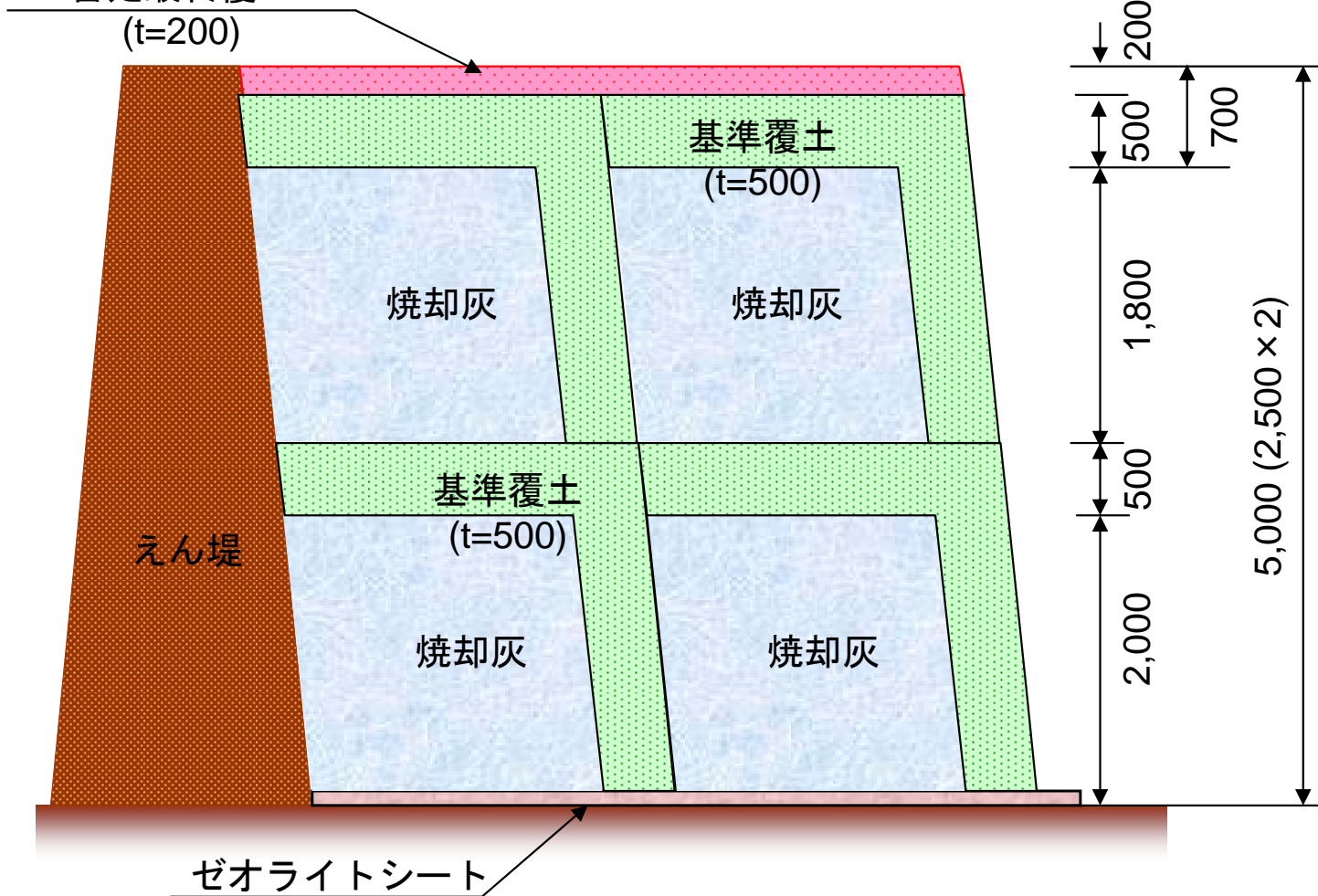
●焼却灰の埋立

◆「安全」から「安心」へ

- 最終処分場周辺住民の理解を得るための十分な説明
- 地域の不安解消にむけた浜松市独自の埋立基準を設定



暫定最終覆土 (t=200) ● 下層のゼオライトと上層の覆土でセシウムを封じ込める。



●受入れ実績

◆平成24年10月18日 ~ 平成25年3月15日

搬入総量		1,313.31トン	
搬入日数	82日	コンテナ数	359台

	山田町		大槌町		合計		
	搬入実績 (トン)	コンテナ (台)	搬入実績 (トン)	コンテナ (台)	搬入日数 (日)	搬入実績 (トン)	コンテナ (台)
試験焼却	20.06	10	21.69	10	4	41.75	20
10月	109.97	30	31.81	10	10	141.78	40
11月	330.25	84	0.00	0	17	330.25	84
12月	125.55	33	86.62	24	12	212.17	57
1月	86.14	22	87.10	24	11	173.24	46
2月	250.85	67	6.91	2	18	257.76	69
3月	156.36	43	0.00	0	10	156.36	43
合計	1,079.18	289	234.13	70	82	1,313.31	359

●埋立実績

◆平成24年10月19日 ～ 平成25年3月27日

◆広域処理の実施期間中の対応

- ▶ 浜松市民のごみと混焼
- ▶ 受入量や休止状況によらず、期間を通じて独自基準を適用

	溶融飛灰		灰処理不適物		合計	
	量 (トン)	車数	量 (トン)	車数	量 (トン)	車数
10月	166.21	21	13.21	3	179.42	24
11月	402.67	50	35.41	10	438.08	60
12月	463.04	53	68.29	14	531.33	67
1月	322.35	40	33.31	6	355.66	46
2月	505.36	53	63.54	11	568.90	64
3月	370.27	39	56.65	10	426.92	49
合計	2,229.90	256	270.41	54	2,500.31	310

測定結果

●【木質チップと溶融飛灰固化物】 単位:Bq/kg ()内は検出下限値

試料 採取日	木質チップ			溶融飛灰固化物		
	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
H24.10.23	不検出 (11)	10 (9)	10	-	-	-
H24.10.24	-	-	-	19 (6)	38 (7)	57
H24.10.30	不検出 (13)	不検出 (11)	不検出	31 (7)	71 (5)	102
H24.11.5	不検出 (10)	不検出 (11)	不検出	27 (5)	43 (5)	70
H24.11.12	不検出 (8)	不検出 (10)	不検出	24 (6)	44 (7)	68
H24.11.19	不検出 (6)	8 (6)	8	26 (6)	52 (6)	78
H24.11.26	不検出 (7)	7 (6)	7	31 (6)	52 (6)	83
H24.11.30	不検出 (7)	不検出 (8)	不検出	24 (5)	42 (7)	66
H24.12.3	不検出 (7)	不検出 (9)	不検出	23 (5)	40 (5)	63
H24.12.10	不検出 (8)	不検出 (9)	不検出	22 (5)	41 (6)	63
H24.12.19	不検出 (7)	不検出 (8)	不検出	21 (5)	38 (6)	59
H24.12.24	-	-	-	21 (5)	34 (7)	55
H25.1.7	-	-	-	17 (6)	30 (6)	47
H25.1.14	-	-	-	10 (6)	26 (5)	36
H25.1.21	不検出 (6)	不検出 (7)	不検出	-	-	-
H25.1.23	-	-	-	14 (5)	29 (6)	43
H25.1.28	不検出 (10)	不検出 (9)	不検出	17 (7)	36 (6)	53
H25.2.4	不検出 (6)	7 (6)	7	16 (4)	30 (7)	46
H25.2.10	不検出 (8)	不検出 (7)	不検出	12 (5)	23 (5)	35
H25.2.18	不検出 (7)	不検出 (9)	不検出	14 (6)	25 (6)	39
H25.2.25	不検出 (8)	不検出 (7)	不検出	11 (4)	24 (5)	35
H25.3.3	不検出 (11)	不検出 (10)	不検出	13 (6)	27 (7)	40
H25.3.11	不検出 (8)	7 (7)	7	13 (5)	24 (6)	37
H25.3.15	不検出 (9)	不検出 (10)	不検出	-	-	-
H25.3.23	-	-	-	14 (5)	30 (5)	44

基準	※静岡県の基準：100Bq/kgを超えないこと。	※国の基準：8,000Bq/kgを超えないこと。 ※浜松市の基準：282Bq/kgを超えないこと。
----	--------------------------	--

●【清掃工場搬出物】

単位：Bq/kg () 内は検出下限値

試料	灰処理不適物			溶融スラグ		
	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
採取年月日						
平成24年10月24日	6 (4)	6 (5)	12	不検出 (4)	6 (5)	6
平成24年11月30日	不検出 (7)	9 (8)	9	不検出 (5)	不検出 (4)	不検出
平成24年12月19日	6 (5)	12 (5)	18	不検出 (5)	不検出 (5)	不検出
平成25年1月23日	8 (6)	11 (7)	19	不検出 (4)	不検出 (5)	不検出
平成25年2月10日	9 (7)	13 (6)	22	不検出 (4)	不検出 (5)	不検出
平成25年3月3日	不検出 (8)	9 (7)	9	不検出 (4)	不検出 (4)	不検出

試料	ミックスメタル			精製塩		
	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
採取年月日						
平成24年10月24日	不検出 (5)	不検出 (5)	不検出	不検出 (5)	不検出 (6)	不検出
平成24年11月30日	不検出 (5)	不検出 (6)	不検出	不検出 (6)	不検出 (5)	不検出
平成24年12月19日	不検出 (6)	不検出 (8)	不検出	不検出 (5)	不検出 (4)	不検出
平成25年1月23日	不検出 (6)	不検出 (5)	不検出	不検出 (5)	不検出 (4)	不検出
平成25年2月10日	不検出 (9)	不検出 (7)	不検出	不検出 (5)	不検出 (5)	不検出
平成25年3月3日	不検出 (6)	不検出 (7)	不検出	不検出 (4)	不検出 (5)	不検出

測定結果

●【清掃工場排ガス】

単位：Bq/m³N () 内は検出下限値

■ 1系炉	ろ紙部			ドレン部			
	採取年月日	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
	平成24年12月19日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.5)	不検出 (0.3)	不検出
	平成25年1月22日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.5)	不検出 (0.3)	不検出
	平成25年2月10日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.5)	不検出 (0.4)	不検出
	平成25年3月3日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.4)	不検出 (0.4)	不検出

■ 2系炉	ろ紙部			ドレン部			
	採取年月日	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
	平成24年11月11日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.4)	不検出 (0.4)	不検出
	平成24年12月19日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.5)	不検出 (0.5)	不検出
	平成25年2月10日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.3)	不検出 (0.3)	不検出
	平成25年3月3日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.3)	不検出 (0.3)	不検出

■ 3系炉	ろ紙部			ドレン部			
	採取年月日	Cs134	Cs137	Cs合計	Cs134	Cs137	Cs合計
	平成24年11月12日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.4)	不検出 (0.4)	不検出
	平成24年11月30日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.4)	不検出 (0.4)	不検出
	平成24年12月19日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.5)	不検出 (0.4)	不検出
	平成25年1月23日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.3)	不検出 (0.5)	不検出
	平成25年2月10日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.4)	不検出 (0.4)	不検出
	平成25年3月3日	不検出 (0.1)	不検出 (0.1)	不検出	不検出 (0.3)	不検出 (0.3)	不検出

処理の進捗

●東日本大震災による災害廃棄物の処理工程表

➤平成25年1月25日 改定 環境省

◆東日本全体の進捗

➤約2,039万トンの災害廃棄物が発生し、47%・965万トンが処理

◆岩手県における処理状況

➤昨年7月の19%から、12月末で38%まで処理が進捗

◆岩手県における木くずの広域処理必要量

➤昨年7月末の43,800トンから12月末で29,900トンまで減少

➤【理由1】空隙が当初想定より多かったため、比重を下方修正

➤【理由2】経年変化や作業に伴う粉砕化

➤【理由3】予想以上の土砂の混入

◆静岡県への広域処理受入依頼量

➤昨年7月末の23,500トンから12月末で3,500トンまで減少

➤浜松市への依頼量も、1,470トンと示される(静岡県処理計画)



(H24.5.22) 現地視察時



(H25.1.11) 実務者打ち合わせ会議時

●搬入終了式

▶平成25年3月15日 16:40～ ■えこはま 2階会議室

◆プラットホームにて最終搬入の立会い

◆経過説明

▶ 浜松市環境部 廃棄物処理施設管理課

◆住民代表挨拶

▶篠原地区自治会連合会 会長 小野田将司 様

▶平松町自治会 会長 新村 安通 様

◆浜松市 謝辞

▶浜松市 環境部長 杉山 悦朗

●埋立終了式

▶平成25年3月27日 13:30～ 浜松市 平和最終処分場

◆溶融飛灰固化物の最終搬入

◆70cmの暫定最終覆土施工・確認

◆空間線量率測定

広域処理の終了



搬入立会い



搬入終了式



広域処理の終了



覆土立会い



埋立終了



「安全」から「安心」へ 地域の不安を解消するために

◆静岡県方式による実施体制

- 静岡県市長会・町村会の共同声明に基づき、県内市町が共同歩調をとり、静岡県が仲介役となって、岩手県と県内市町を結びつけた静岡県方式

◆説明に意を尽くす

- 最終処分場周辺住民をはじめ、市民の理解を得るまで、粘り強く重ねた説明

◆徹底した情報公開

- 55回に及ぶ、説明会や報告会を開催
- 試験焼却、焼却灰の埋立などの作業を公開
- 搬入実績や測定結果などの、速やかな情報公開

◆慎重に、そして確実に

- 浜松市独自の安全基準の設定と遵守
- 継続した測定による安全の確認